

熊本県立荒尾支援学校進路便り 6月号 (NO. 26)

# わーく&らifu

平成30年6月27日 進路指導部 発行

■ CONTENTS ■

- A面 ★更にパワーアップ！福祉サービス事業所説明会  
★障がい福祉サービス社会資源マップ
- B面 ★福祉基礎講座①障がい福祉サービスの体系  
★トピック「あらたまハートブランド協議会」

## 更にパワーアップ！福祉サービス事業所説明会 ～合い言葉は「来て！見て！納得。」～

すでにご案内しましたとおり、本年度も福祉サービス事業所説明会を実施します。本事業は、本校保護者の皆様に、各事業所と直接対話し、知りたい情報を得る機会を創ろうというコンセプトで実施するものです。

昨年度は、本校周辺の2市4町から、計26事業所の皆様にご来校いただき、のべ94人の本校保護者にご参加いただきました。

この取組を振り返ると、学校・保護者・事業所すべてに意味のある「WIN WIN WIN (三方よし)」だったと感じます。

平成29年度 福祉サービス事業所説明会  
事後アンケート結果



保護者

○5段階評価 平均3.6  
△時間不足



事業者

◎5段階評価 平均4.6  
◎3つのチャンス  
①親のニーズに触れる  
②事業所の広報・啓発  
③他事業所を知る  
△時間不足

	平成29年度	平成30年度
実施(予定)回数	3回	7回(昨年比2倍超)
事業所数	26事業所	29事業所 ※案内に対する参加率80%
その他		・説明の持ち時間の拡大。 ・質疑時間確保 ・相談支援事業所へ案内。

保護者自らが「福祉」の現場について深く知ろうとする姿勢を強く感じましたし、終了後実施したアンケートでは、事業所からも、3つのチャンスのもと高く評価され、5段階評価で平均「4.6」の評価を頂きました。

そこで本年度は、昨年度頂いた声をもとに、回数や説明の持ち時間を拡大し、更に

パワーアップして7回シリーズでお届けして参ります。

昨年は十分とれなかった質問タイムや個別の相談などにも対応できる時間を確保しました。保護者の皆様のたくさんのご来校をお待ちしております。

**福祉サービス事業所説明会 7月の予定**

【とき】 7月11日(水) ※事前に申し込みをお願いします。

【ばしょ】 荒尾支援学校会議室

【参加者】 10:00-11:00 ①荒尾きぼうの家 ②ワンピース  
11:30-12:30 ①Sun☆フラワー ②あゆみの家

## 説明会の予習にいかがでしょう？ 「障がい福祉サービス社会資源マップ！」

■本校を取り巻く有明福祉圏域の自立支援協議会では、社会資源マップを作成しホームページで公開しています。

子ども向けサービスの「放課後等デイサービス」から、卒業後に利用する、総合支援法に基づく福祉サービス事業すべてが掲載されています。

■説明会の予習にご覧になると、事業所の特色がわかり、「説明会で詳しく聞きたいこと」や「質問したいこと」などの考えがまとまるはず。

ご家庭でご家族で、福祉や進路のことを検索してみてもはいかがでしょうか。

■データは、荒尾市・玉名市などの行政ホームページから、すべてPDFファイルでダウンロードできるようになっています。

■学校ですべてを印刷した冊子も作成しています。パソコンやスマートフォンが使用できない方でご覧になりたい場合は、連絡帳を通じて遠慮なくお申し付けください。

■検索方法はこちら（PC、スマホから）

有明圏域 社会資源マップ

検索

「有明圏域 社会資源マップ」と入力をクリック。

【区分3(50歳以上は区分2)以上】  
生活介護  
わがんせ  
NPO法人花梨の家

所在地	〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾1694-1	
電話	0968-62-1175 FAX 0968-62-1175	
お問い合わせ担当	吉賀 菜実子	
Eメールアドレス	arakarin@ybb.ne.jp	
ホームページ		
開設年月日	平成14年4月1日	
提供事業	就労継続支援(型)、相談支援	

[1] 事業所概要

定員	運営日	営業時間(利用時間)
18名	月曜～金曜日	9:00～17:00 (9:30～15:30)

[2] 対象障がい種別 (◎主たる対象者 ○対象者 △相談に応じます ×対応不可)

身体	知的	発達	発達	高度脳機能	精神
◎	◎	○	○	○	○

[3] サービスの内容

サービスの内容	入浴支援 食事介助 トイレ介助 創作 生産活動 調理・自立訓練 レクリエーション活動
---------	---

F.A.Q. 28/29

### 「マップの一例」

## 福祉基礎講座①障がい福祉サービスの体系

特別支援学校卒業生の進路は大きく、「就職（約3割程度）」「福祉サービス利用（約6割程度）」「進学（若干）」となっています。

このうち卒業後利用する福祉サービスは、「障害者総合支援法」で定められており、大きく「介護給付」「訓練等給付」「地域生活支援事業」の3つに分けられます。

### 1 介護給付(かいごきゅうふ)とは

障がいが高く、支援(お手伝い)をたくさん必要とする人のためのサービスです。

- たとえば、ヘルパーさんが家事などを行うホームヘルプ。  
親の急用やレスパイトのため、夜の宿泊と入浴などの介護をする短期入所(ショートステイ)  
昼間通所し、運動・創作活動・簡単な作業をして生活リズムを整えたり健康を維持しようとする生活介護。などがあります。
- お手伝いがたくさん必要な人のためのサービスですから、支援度により利用できない人もいます。

### 2 訓練等給付(くんれんとうきゅうふ)とは

地域での生活・自立に向けて「ひとりで暮らす」ための力や、「働く」ための力をつけるためのサービスです。

- たとえば、会社への就職に向けた力を短期間(2年間)で伸ばす「就労移行支援」。  
働く意欲や作業の力は高い(一般の人と変わらない程度)けれど、障がいの特性や病状、年齢等の理由で、会社で働くのは難しい方が通う「就労継続支援A型」。  
軽作業など比較的簡易な作業を通した社会参加の場を提供し、生活リズムの安定と就労意欲の向上をめざす「就労継続支援B型」  
世話人がいる共同生活を送り、自立生活を目指すグループホームなどがあります。

### 3 地域生活支援事業とは

地域の中での居場所・交流・移動などをお手伝いするサービスです。

- たとえば、施設で昼間一時的に預かり居場所を提供する日中一時支援。  
お出かけの際にお手伝いする移動支援。

心身の状態に合わせて出かけて、お話しや趣味の活動、軽い作業などを行う地域活動支援センターなどがあります。

## トピック「あらたまハートブランド協議会」

高等部一般学級では、現場実習でお世話になった実習先へのお礼の品として、保護者の皆様からお預かりした「進路費」を使って毎回、菓子折りを購入させて頂いてきました。これまでは菓子メーカーから調達していたところを、本年度より「あらたまハートブランド協議会」に発注・納品して頂くこととしました。



- あらたまハートブランド協議会とは  
「あらたまハートブランド協議会」は、平成25年4月、荒尾・玉名地域の就労系の12事業所で設立されました。

各事業所の商品を販売する売店「夢広場(玉名地域振興局1階)」の運営や、共同受注システム方式で、単一事業所では受注できない大がかりな仕事を、複数の事業所で協力して請け負う取組(玉東町208号線沿いの花壇管理)を通し、地域全体の就労系事業所の利用者さんの工賃が底上げされるよう取り組まれています。

写真下は商品の納品で来校した「風工房」で働く本校卒業生のとびきり笑顔です。ハートブランド協議会の皆様ありがとうございました。



「納品する本校卒業生」

### あらたまハートブランド協議会参加事業所

荒尾市小岱作業所 わがんせ ほし がまだすサポート 風工房  
ワンピース 若葉作業所 第二天水学園 るびなす ピュアマインド  
なかま ひまわりの里

### <編集後記>

玉名地域振興局においで折は「夢広場」をぜひのぞいてみてください。今回注文した風工房・わがんせ・るびなすさんのコラボによる菓子折の注文もできるそうです。詳しくお知りになりたい方は谷口へお声かけください。

